

事前評価チェックシート

計画の名称： 通学路等における交通安全対策の推進（防災・安全）

事前評価		チェック欄
Ⅰ．目標の妥当性		
上位計画との整合性 1) 上位計画等と整合性が確保されている。		○
Ⅰ．目標の妥当性		
地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて整備計画の目標が設定されている。		○
Ⅱ．計画の効果・効率性		
目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。		○
Ⅱ．計画の効果・効率性		
目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。		○
Ⅱ．計画の効果・効率性		
目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。		○
Ⅱ．計画の効果・効率性		
事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。		○
Ⅱ．計画の効果・効率性		
事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。		○
Ⅲ．計画の実現可能性		
円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。		○
Ⅲ．計画の実現可能性		
円滑な事業執行の環境 2) 全体事業費、要素事業費の額が適切である。		○
Ⅲ．計画の実現可能性		
円滑な事業執行の環境 3) 事業実施のための環境整備が図られている。		○

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和04年12月23日

計画の名称	通学路等における交通安全対策の推進（防災・安全）													
計画の期間	令和05年度～令和09年度（5年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	高松市													
計画の目標	通学路等において、歩道整備など安全対策を実施することで、安全安心で円滑な移動環境の構築を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		953	A	953	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R5当初)		(R9末)
1	通学路合同点検に基づく安全対策を推進する			
	通学路合同点検に基づく安全対策を推進する	0%	%	100%
	対象校区内における道路管理者がすべき通学路安全対策完了率（対策完了箇所数/要対策箇所数）×100%			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-001	街路	一般	高松市	直接	高松市	S街路	新設	（都）木太鬼無線（三条 工区）	バイパス L=0.67km	高松市	■	■	■	■	■	662		-	
	A01-002	街路	一般	高松市	直接	高松市	S街路	改築	（都）公園東門線	現道拡幅 L=0.20km	高松市	■	■	■			291		-	
												小計						953		
											合計						953			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05				
配分額 (a)	0				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					